



トレーニングと認定

AWS 認定ジャーニーの プランニング

どの AWS 認定から取得すべきか

IT およびクラウドの 初心者

IT 以外のバックグラウンドからクラウドへキャリアチェンジする

最初の認定: AWS クラウドと用語に関する基礎知識を検証する AWS Certified Cloud Practitioner

成果: エントリーレベルのクラウド関連の仕事に就いたり、他の AWS 認定に挑戦するための基礎を確立できたりします。

基幹業務担当者

営業、マーケティング、その他の職務に就いている

最初の認定: AWS クラウドと用語に関する基礎知識を検証する AWS Certified Cloud Practitioner

成果: ステークホルダーや顧客とのクラウドに関するコミュニケーションやコラボレーションが向上します。

IT 従事者

1~3 年間の IT またはステムのバックグラウンドがある

最初の認定: 役職や関心に応じた Associate レベルの AWS 認定

成果: クラウドキャリアを築くための AWS クラウドの知識とスキル、自信、信頼性を検証します。

AWS 認定パス

クラウド関連の仕事の主な役職、役職が担う責任、各役職に応じた AWS 認定のパスを以下に示します。キャリアの目標の達成に向けて、興味のある職種を選択して AWS 認定ジャーニーを始める、または続けてください。注意: AWS Certified Cloud Practitioner は、IT またはステムのバックグラウンドを持つ受験者にとってはオプションのステップです。

役職と責任

AWS 認定パス

アーキテクト

ソリューションアーキテクト
クラウドインフラストラクチャとアセットを設計、開発、管理し、DevOps でアプリケーションをクラウドに移行します。



アプリケーションアーキテクト

ユーザーインターフェイス、ミドルウェア、インフラストラクチャなど、アプリケーションアーキテクトの重要な側面を設計し、エンタープライズ全体でスケーラブルで信頼性が高く、管理しやすいシステムを確保します。



データ分析

クラウドデータエンジニア

構造化/半構造化データの収集と処理を自動化し、データパイプラインのパフォーマンスをモニタリングします。



開発

ソフトウェア開発 エンジニア

プラットフォームやデバイス全体でソフトウェアの開発、構築、保守を行います。



オペレーション

システム管理者

コンピュータのコンポーネントとソフトウェアのインストール、アップグレード、保守を行い、オートメーションプロセスを統合します。



クラウドエンジニア

組織のネットワークコンピューティングインフラストラクチャを実装および運用し、セキュリティシステムを実装してデータの安全性を維持します。



DevOps

テストエンジニア

設計からリリースまで、製品のライフサイクル全体にわたって、ソフトウェア開発に関するテストと品質のベストプラクティスを組み込みます。



クラウド DevOps エンジニア

エンドツーエンドの自動 CI/CD DevOps パイプラインを提唱して、大規模なグローバルハイブリッドクラウドコンピューティング環境の設計、デプロイ、運用を行います。



DevSecOps エンジニア

CI/CD の原則、手法、テクノロジーを使用して機能を迅速かつ安定的に提供しながら、エンタープライズクラウド導入を加速させます。



セキュリティ

クラウドセキュリティエ ンジニア

コンピュータセキュリティアーキテクトを設計し、詳細なサイバーセキュリティの設計を進めます。情報を保護するセキュリティ対策の開発、実行、パフォーマンスの追跡を行います。



クラウドセキュリティアー キテクト

ガバナンスを適用したエンタープライズクラウドソリューションの設計と実装を行い、ビジネスリスクと技術リスクを特定および伝達し、最小限に抑えます。



ネットワーク

ネットワークエンジニア

ローカルエリアネットワーク (LAN)、ワイドエリアネットワーク (WAN)、イントラネット、エクストラネットなどのコンピュータおよび情報ネットワークの設計と実装を行います。



AI/機械学習

機械学習エンジニア

予測モデルを自動化するための人工知能 (AI) システムの研究、構築、設計を行い、機械学習のシステムやモデル、スキームを設計します。



始める準備はできましたか? キャリア目標に応じて試験を選択し、以下のステップに従って試験対策を行い、自信を持って試験当日を迎えましょう。



ステップ 1

試験と試験形式の問題について知る



ステップ 2

AWS Skill Builder で試験のトピックを確認する



ステップ 3

AWS Skill Builder で試験準備トレーニングを受ける



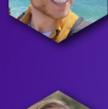
ステップ 4

公式模擬試験で準備状況を判断する

AWS 認定資格保有者の声:



「認定によって信頼性が高まり、学ぶ姿勢だけでなく実際のプロジェクトにおけるベストプラクティスへのコミットメントを証明できます。AWS Certified Solutions Architect - Professional と AWS Certified DevOps Engineer - Professional の認定取得は、時間と努力に対して価値の比率が最も高く、評判を最大限に高めることができました」
フリーランスのクラウドソフトウェアコンサルタント、Igor Soroka 氏



「AWS エコシステム、既存のサービス、各サービスに適したユースケースについて、理解を深めることができました。AWS Certified Solutions Architect - Associate から始め、現在では 10 個の AWS 認定を取得しています。学習したことで、クラウドでできることについての見方が大きく変わり、仕事のやり方や物事を早く終わらせる方法も変化しました」
データサイエンス担当シニアリーダー、Rola Dali 氏